

鋼製型枠



適応可能な範囲



プラント



現場事務所



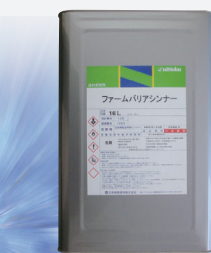
生コン車

Line up



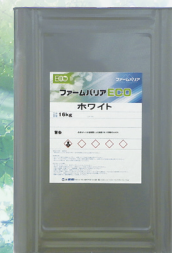
ファームバリア

A液14.0kg/缶 B液 2.0kg/缶



ファームバリアシンナー

16.0ℓ/缶



ファームバリア ECO

16.0ℓ/缶

鋼製型枠温度抑制塗料

ファームバリア ファームバリア ECO

NETIS登録 QS-120011-VE



宮崎県経営革新計画承認企業

株式会社 宮防
http://miyabo.co.jp

お問合せ

フリーダイヤル



0120-077-876



miyazaki@miyabo.co.jp

TEL 0985-53-1008

FAX 0985-53-1044

本社 宮崎市大字田吉1886番地

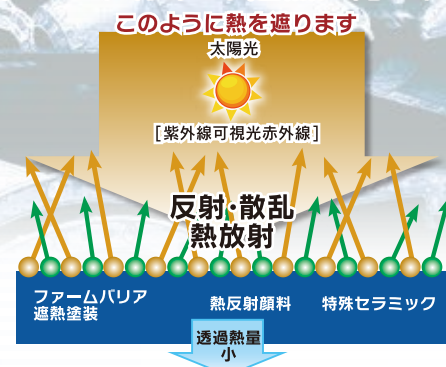
鋼製型枠の表面に塗布するだけで 抜群の温度抑制効果

消波根固めブロック製作時に使用する
鋼製型枠は**夏季には60℃以上の**
高温になります。

ファームバリア・ファームバリアECOを塗布する
ことで生コンクリートの温度上昇が抑制でき、
品質・出来形の向上が図られます。

ファームバリアは、熱反射顔料により太陽光スペクトルのうち熱作用の高い近赤外線を効率よく反射・散乱します。また、配合されたセラミックの作用によりいったん吸収した熱を放射します。この2つの作用により温度上昇を抑制します。

ファームバリアの遮熱メカニズム



ファームバリアは
国土交通省NETISに登録された**新技術塗料**です。

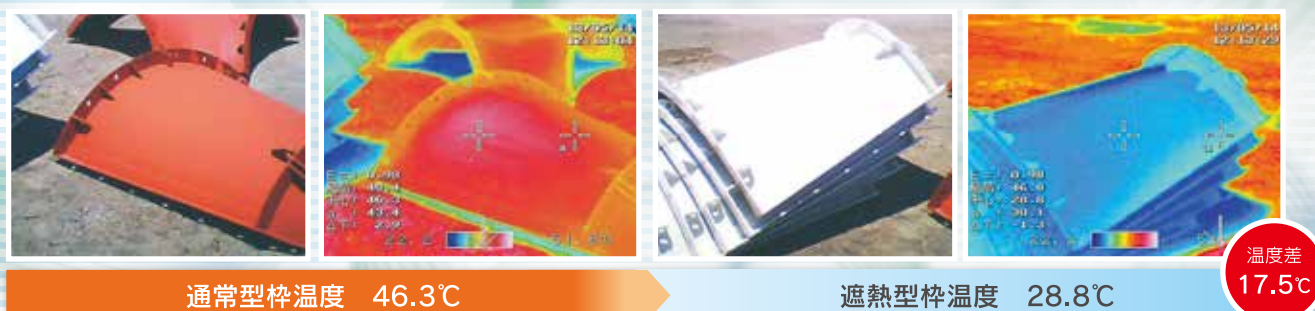
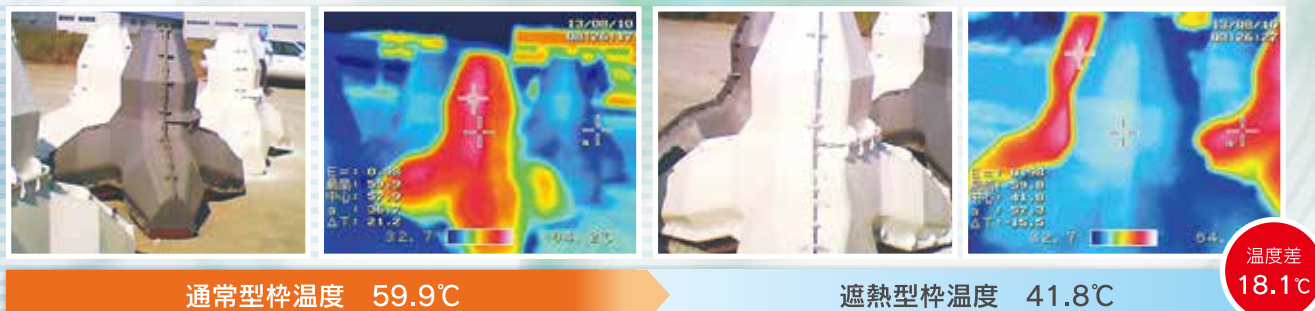
生コン車ドラム・鋼製型枠の暑中コンクリート対策として全国で初めてNETISに登録されました。



赤外線カメラによる 鋼製型枠の表面温度差の測定 遮熱塗料<ファームバリア>の効果

実際に施工された施工会社様の声

- ・型枠が熱くないため非常に作業しやすかった。
- ・暑熱対策にかかる経費が安く済んだ。
- ・発注担当者の評価が良かった。



採用事例



宮崎大学工学部との共同研究

■鋼製型枠 / 最高温度 (裏面)



ファームバリア施工方法

■ファームバリア

工 程	材 料	配 合	使用量	施工間隔
上塗り (1回目)	ファームバリアA液	14.0kg	0.15kg/m ²	2時間 (23℃)
	ファームバリアB液	2.0kg		
	ファームバリアシンナー	0~2.5ℓ		
上塗り (2回目)	ファームバリアA液	14.0kg	0.15kg/m ²	
	ファームバリアB液	2.0kg		
	ファームバリアシンナー	0~2.5ℓ		

■ファームバリアECO

工 程	材 料	配 合	使用量	施工間隔
上塗り (1回目)	ファームバリアECO	16kg	0.15kg/m ² ~0.2kg/m ²	2時間 (23℃)
	清水	0~1.6kg		
上塗り (2回目)	ファームバリアECO	16kg	0.15kg/m ² ~0.2kg/m ²	
	清水	0~1.6kg		

〔ファームバリアECO エアレス塗装条件〕 一次圧：0.4~0.5Mpa 二次圧：12~15Mpa
チップNo. フリーパターンチップ 041(0.45~0.9mm)